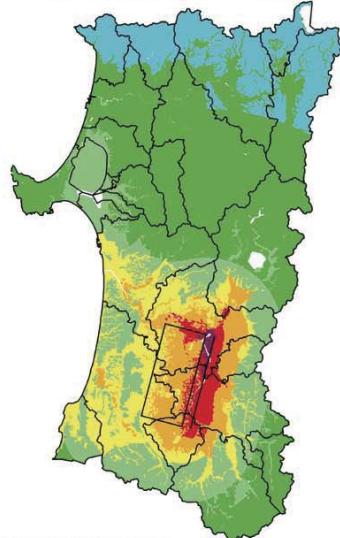


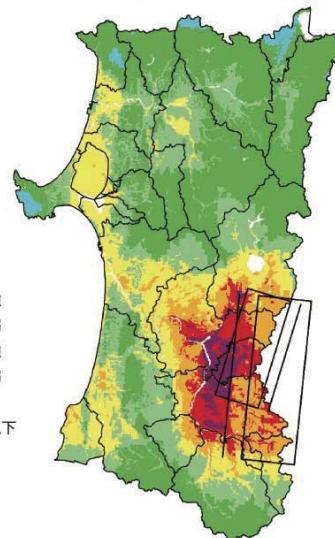
# 秋田県地震被害想定調査

秋田県が平成25年8月に報告した「地震被害想定調査」によると本市において被害程度が著しく大きくなると見込まれる地震は次の2つの想定である。  
いずれも冬の深夜(午前2時)に地震が発生した場合の想定となっている。

秋田仙北地震  
[M=7.3, 最大震度:7, 簡易法]



横手盆地 真昼山地連動  
[M=8.1, 最大震度:7, 詳細法]



●湯沢市に想定される被害程度

種別	最大震度	建物被害			人的被害		ライフライン被害		避難者数
		全壊棟数	半壊棟数	焼失棟数	死者数	負傷者数	上水道断水人口	電力停電世帯数	
		棟	棟	棟	人	人	人	世帯	人
秋田仙北地震 (M=7.3)	6強	389	2,558	0	19	367	11,704	4,336	5,212
横手盆地真昼山地連動(M=8.1)	7	2,571	7,169	4	167	1,276	12,034	11,606	9,356

## 調査結果から分かる被害の特徴(県全体)

### (1) 地震動による被害

- ア 人的被害のほとんどが、建物の倒壊によるものである
- A 人的被害(死者及び負傷者)の原因を見ると、建物の倒壊が約9割を占める。
- B 秋田県は、現在の耐震基準が導入された時期(昭和56年)より前に建てられた建物が過半数であり、被害拡大の要因となっている。
- イ 冬の深夜の被害が最大になる
  - A 冬は、夏に比べて、積雪により建物倒壊数が増加する。
  - B 深夜は、日中に比べて、避難に時間がかかるほか、在宅率が高いため、建物倒壊等による人的被害が増加する。
- ウ ライフラインの復旧までに数週間を要する場合がある
  - 水道、電気、ガス、通信などのライフライン施設が被災した場合は、被害の大きさによって、復旧までに数日から数週間を要します。特に、冬の場合には作業効率が下がり、復旧時間が長期化する。
- エ 多数の避難者が発生する
  - 建物被害によるほか、断水の長期化により、数万人から十数万人の避難者が発生する。

# わが家の防災対策&チェック

## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

1

### □ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換ええる。



2

### □ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄間にいろいろもの置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことを。



3

### □ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。

転倒防止器具

板などを差し込む

## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

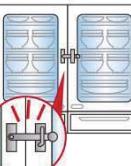
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかりと連結しておく。



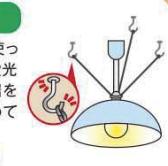
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



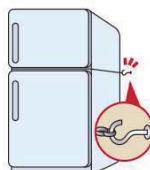
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



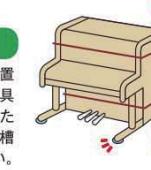
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上の場合はさける)。また、テレビの上には水槽や金魚鉢を置かない。



### ピアノ

本体にナイルンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### □ 屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### □ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

### □ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



### □ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### □ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

### □ 非常口の確保